

112 DLd療法

■適応:再発又は難治性の多発性骨髄腫

投与方法	薬品名		
1～2サイクル	ダラキューロ皮下注 15mL/body レブラミド内服 デカドロン 内服	Day1,8,15,22 Day1～21 Day1,2,8,9,15,16,22,23	4週毎を1コースとして繰り返す。
3～6サイクル	ダラキューロ皮下注 15mL/body レブラミド内服 デカドロン 内服	Day1,15 Day1～21 Day1,2,15,16	4週毎を1コースとして繰り返す。
7サイクル以降	ダラキューロ皮下注 15mL/body レブラミド内服 デカドロン 内服	Day1 Day1～21 Day1,2	4週毎を1コースとして繰り返す。

ダラキューロ皮下注はinfusion reactionのリスクあり、軽減目的で前投薬を行う。

処方例

カロナール500mg 2T

フェキソフェナジン60mg1T

デカドロン4mg 5T

モンテルカスト10mg 1T 1日1回 ダラキューロ投与の1～3時間前に

ダラキューロは5分以上かけて可能な限り一定速度で注入。

レブラミドはレブメイトシステムの管理が必要(院内処方)